

立命館大学地域情報研究所主催 「次なる茨木へ。」研究会

2018年度、地域情報研究所は、茨木市より「市内企業・法人の動向分析等にかかる調査・研究」を受託しました。この調査・研究の一環として、茨木市の現状や今後の動向に照らし合わせて、どのような経済活動・市民生活が「次なる茨木へ。」展開に即する可能性があるのかを考えるため、学内外より講師を招き3回にわたる討論を行います。

第1回



名取 隆

立命館大学大学院
テクノロジー・マネジメント研究科長

「行政におけるオープンイノベーション」

近年、イノベーションを促進する手法としてオープンイノベーションに注目が集まっています。今回は、行政におけるオープンイノベーションの活用に焦点を当てて、いくつかの事例紹介を交えてオープンイノベーションの可能性と課題について解説します。

■講演者紹介 東京大学経済学部卒業後、日本開発銀行（現在の日本政策投資銀行）入行。日本政策投資銀行地域振興部企画審議役を経て、2009年4月より現職。市長アドバイザーとして自治体（千葉県銚子市地域再生本部副本部長）へ出向し、地域振興政策を担当するなど地域振興行政の経験もあり。

第2回



小岸 弘和

株式会社ディアーズ・ブレイン 代表取締役 兼
ワタベウェディング株式会社 取締役上席執行役員

■講演者紹介 立命館大学経営学部卒業後、リクルート入社、大手企業の採用広報および組織活性のコンサルティングを担当。2001年ウェディング業界を対象にコンサルティング業務を開始。04年よりゲストハウス結婚式場運営を開始し、07年9月台湾に進出。

塩見 正成

公益財団法人大阪観光局 魅力創造部長

■講演者紹介 1988年立命館大学経営学部卒業後、日本交通公社（現JTB）入社 姫路支店配属。その後、JTB西日本営業本部にて営業開発課長、地域交流ビジネス推進室長、交流文化部長、JTBグループ本社観光戦略部長、JTB西日本観光開発統括シニアプロデューサーを経て現職。日本観光研究学会所属、内閣府総合特区評価・調査検討会委員（地域活性化（観光））、ひめじ観光大使。

会場：立命館大学OIC（大阪いばらきキャンパス）B棟2階R-AGORA

第3回



加藤 正明

東日本国際大学地域振興戦略研究所
客員教授 兼
株式会社博報堂関西支社 ディレクター

「地域ブランディングの現場から」

一般的なブランド論と地域ブランドの共通点・相違点等についてはさまざまな見解があるようですが、ブランド拡張の援用という観点で地域ブランドを語る議論は見かけません。地域とモノの間のブランド拡張をすることで地域ブランドの構造に迫る試みを中心に、自治体ブランド調査やプロモーションの事例、大きな潮流などについて、現場感覚でお伝えしていきます。

■講演者紹介 地方自治体、中央省庁・教育機関等のコミュニケーションに従事。九州・沖縄サミット国際メディアセンター、大阪オリンピック招致活動、兵庫国体 開閉会式、北海道洞爺湖サミット環境大臣会合サイドイベント、上海万博大阪出展等を担当。

会場：立命館大学OIC（大阪いばらきキャンパス）B棟2階R-AGORA

お問い合わせ：立命館大学 OICリサーチオフィス（大浦、野村）
Tel: 072-665-2570 Email: oicro@st.ritsumei.ac.jp

本研究会は、茨木市からの受託研究「市内企業・法人の動向分析等にかかる調査・研究」の一環で、茨木市の協力・支援を得て開催するものです。